

## 基本施策4-2 水・土壌・地盤環境の保全

### 主な課題

河川・地下水の水質や、土壌の質を良好に保ち、それらの汚染等による被害や地盤沈下を防ぐため、水質調査、有害物質による土壌・地下水汚染の未然防止、生活排水の適正処理、地下水利用の抑制などが重要となっています。

### 取組の基本方向

水・土壌・地盤環境の保全を図るため、土壌や地下水汚染の未然防止や適正な地下水利用を推進します。

### 施策・概要

4-2-1 監視体制の整備と充実	
(1) 水質調査等の充実	主要河川において水質調査を実施するほか、地下水についても水質調査を実施する。
(2) 生活排水監視体制の充実	公共下水道における生活排水中の化学物質のモニタリング等を実施する。
4-2-2 発生源対策の充実	
(1) 工場・事業場に対する指導の徹底	工場・事業場に対して公害関係法令の遵守や排出水の自主測定、施設の適正管理に関する指導を実施するほか、水質事故の未然防止に係る啓発を行う。
(2) 土壌汚染対策に係る指導・助言	土地の所有者等に対する指導、助言を行うほか、有害物質使用事業場に対する指導を実施する。
(3) 地下水利用抑制の啓発	事業者に対し、地下水利用の抑制の啓発を実施する。
4-2-3 生活排水対策の充実	
(1) 生活排水処理施設整備の推進	公共下水道の整備を推進するとともに、合併処理浄化槽の普及を促進する。
(2) 合流式下水道の機能改善	合流式下水道の緊急的な機能改善を実施する。

### 環境目標の各年度の実績

No.	指標				担当課
18	河川水の生物化学的酸素要求量（BOD）に係る基準の達成率				環境保全課
	H21（基準）	H22	H23	H27（目標）	
	94%	94%	94%	環境基準の達成率維持を目指す。	

環境目標達成に向けた取組の実施状況

No.18 河川水の生物化学的酸素要求量（BOD）に係る基準の達成率	
平成23年度の実施内容	<p><b>【事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川の実環境基準の達成状況を把握するため、「公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき、主要河川において計画的・継続的な水質調査を実施している。</li> <li>工場・事業場に対し立入検査を実施し、公害関係法令の遵守や排出水の自主測定、特定施設等の適正管理の指導を徹底している。</li> <li>公共用水域の水質汚濁を防止し良好な生活環境を保全するため、公共下水道の整備や公共下水道等の計画のない区域における合併処理浄化槽の整備促進など、生活排水処理基本計画を推進している。</li> </ul> <p><b>【事業の目的】</b></p> <p>「宇都宮市生活環境保全推進計画」に基づき、水環境の監視や発生源対策を推進することで、「清らかでやすらぎのある豊かな水・土壌・地盤環境」の確保を図る。</p> <p><b>【事業の効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活排水処理率については、平成23年度において92.2%となっている。</li> <li>平成23年度に改定した生活排水処理基本計画の中で、新たな目標として「公共用水域水質（BOD）の見通し」等を掲げ、生活排水処理施設について、着実に整備を推進していく。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している</li> <li><input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる</li> <li><input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、より一層の努力を要する</li> <li><input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する</li> </ul>

## 基本施策4-3 音・振動・臭気環境の保全，化学物資対策の推進

### 主な課題

騒音・振動や悪臭，化学物質による被害を防ぐため，交通・道路等の総合的対策，工場・事業場に対する指導，近隣公害の防止に係る啓発，化学物質に係る情報の提供などが重要となっています。

### 取組の基本方向

騒音・振動や悪臭，化学物質による被害を防ぐため，総合的な指導啓発や適切な情報提供に努めます。

### 施策・概要

4-3-1 監視体制の整備と自動車騒音対策の充実	
(1) 騒音調査の充実，関係機関に対する要望	自動車，東北新幹線，自衛隊航空機に関わる騒音等の調査を実施し，必要に応じて関係機関への要望を行う。
(2) 自動車騒音対策の充実	「公共交通ネットワークの充実・強化及び利用促進」や「自転車利用・活用の促進」，「低環境負荷型自動車利用環境の整備」により，自動車騒音対策を推進する。
4-3-2 近隣公害等への対応	
(1) 工場・事業場に対する指導の徹底（騒音・振動・悪臭）	工場・事業場に対して公害関係法令の遵守や騒音・振動・悪臭防止の指導を行う。
(2) 近隣公害の防止に係る啓発	近隣の騒音，振動，悪臭等を防ぐため，啓発を実施する。
4-3-3 化学物質への対応	
(1) 化学物質や農薬等の適正使用，適正管理，削減の推進	製造業や農業における化学物質や農薬等の適正使用，適正管理，削減に係る情報提供のほか，事業者意識の啓発を推進する。
(2) ダイオキシン対策の推進	大気，河川，河川底質，地下水，土壌の調査を行うほか，ダイオキシン類を発生する工場・事業場に対し立入検査を実施する。

### 環境目標の各年度の実績

No.	指標				担当課
19	自動車騒音に係る環境基準の達成率				環境保全課
	H21（基準）	H22	H23	H27（目標）	
	87%	87%	87%	92%	

環境目標達成に向けた取組の実施状況

No.19 自動車騒音に係る環境基準の達成率	
平成23年度の実施内容	<p><b>【事業の概要】</b> 自動車騒音の環境基準の達成状況を把握するため、主要幹線道路沿道において、計画的・継続的な騒音調査を実施するとともに、自動車騒音に係る要請限度の測定を実施し、超過した場合には、県公安委員会や道路管理者等関係機関に結果報告や配慮の依頼、要請等を行う。</p> <p><b>【事業の目的】</b> 「宇都宮市生活環境保全推進計画」に基づき、自動車騒音の監視や自動車騒音対策を推進することで、「おだやかで心地よい、安心して暮らせる生活環境」の確保を図る。</p> <p><b>【事業の効果】</b> 自動車騒音の環境基準を超過している9地点について、平成21年度から、毎年2地点ずつ要請限度の測定を実施しており、現在のところ超過はない。</p> <p>※ 要請限度とは、騒音規制法に基づく自動車騒音対策に係る行政措置で、市長が、県公安委員会に交通規制を要請、又は、道路管理者に道路構造の改善を意見できる騒音の限度のこと。</p>
評価	<p><input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している</p> <p><input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる</p> <p><input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、より一層の努力を要する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する</p>

評価が「目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する」であったこと  
の主な理由とその改善策

No.19 自動車騒音に係る環境基準の達成率	
理由	交通政策や道路整備が進んできていることから、環境基準の達成率向上を目指しているところであるが、環境基準の達成率は基準年と比較して横ばいであるため。
改善策	交通政策を総合的・計画的に進めるとともに、道路整備を計画的に推進していく。

## 基本施策 4-4 生活環境の保全

### 主な課題

生活環境の保全に向けて、事業者の環境対策を促進するため、協定の推進、環境対策への支援、情報のオープン化と事務の効率化などが重要となっています。

### 取組の基本方向

自然環境と経済活動が調和した快適な生活環境を実現するため、事業者と連携した生活環境保全の取組等を推進します。

### 施策・概要

4-4-1 生活環境保全対策の推進	
(1) 事業者と連携した生活環境保全対策の推進	公害防止と環境保全活動等に係る「宇都宮市環境協定」の締結事業者の拡大を図るほか、環境にやさしい工場の見学会の実施や、公害防止・化学物質に係る事業者研修会の開催、事業者の環境保全対策への支援を行う。
(2) 情報の公開	環境関連法令届出を電子管理化し、公開する。

### 環境目標の各年度の実績

No.	指標				担当課
20	宇都宮市環境協定締結事業者数				環境保全課
	H21 (基準)	H22	H23	H27 (目標)	
	34 社	34 社	33 社	54 社	

環境目標達成に向けた取組の実施状況

No.20 宇都宮市環境協定締結事業者数	
平成23年度の 実施 内容	<p>【事業の概要】 事業者の自主的・積極的な取組を推進するため、公害防止と環境保全活動に係る「宇都宮市環境協定」の締結の維持・拡大を目指す。</p> <p>【事業の目的】 「宇都宮市生活環境保全推進計画」の横断的な取組である「宇都宮市環境協定」を推進することで、良好な生活環境の確保を図る。</p> <p>【事業の効果】 「宇都宮市環境協定」により、事業者の自主的・積極的な取組を推進することで、良好な生活環境の確保に寄与している。</p>
評価	<p><input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している</p> <p><input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標の達成に向け、より一層の努力を要する</p> <p><input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する</p>

評価が「目標の達成に向け、より一層の努力を要する」であったことの主な理由とその改善策

No.20 宇都宮市環境協定締結事業者数	
理由	<p>現在、33社と締結しているところであるが、経済情勢が悪化している中で、協定で義務化している騒音等の自主測定や設備投資の費用負担から、締結の維持・拡大が困難な状況にある。</p>
改善策	<p>自主測定支援策として、引き続き騒音等測定機器の貸出しを行うとともに、協定に係る取組内容についてパネル展示やHPで広く紹介することで、企業イメージの向上を図りながら、締結の維持・拡大を図っていく。</p>

## 宇都宮市環境協定締結事業者

平成 24 年 3 月 31 日現在

No.	事業者名	備考	No.	事業者名	備考
1	宇都宮化工株式会社	清原工業団地	18	日本たばこ産業株式会社	清原工業団地
2	エア・ウォーター株式会社	清原工業団地	19	日本山村硝子株式会社	清原工業団地
3	エスペック株式会社	清原工業団地	20	マニー株式会社	清原工業団地
4	エム・イー・エム・シー株式会社	清原工業団地	21	株式会社マルハニチロ食品 化成食品事業部	清原工業団地
5	カルソニックカンセイ株式会社	清原工業団地	22	株式会社マルハニチロ食品 宇都宮工場	清原工業団地
6	カルビー株式会社	清原工業団地	23	株式会社ミツトヨ	清原工業団地
7	キャノン株式会社	清原工業団地	24	株式会社 ムロ コーポレーション	清原工業団地
8	清原住電株式会社	清原工業団地	25	久光製薬株式会社	清原工業団地
9	清水鋼鐵株式会社	清原工業団地	26	日本ペイント株式会社	清原工業団地
10	新陽工業株式会社	清原工業団地	27	株式会社関東三翠社	宇都宮工業団地
11	住友ベークライト株式会社	清原工業団地	28	株式会社クボタ	宇都宮工業団地
12	帝人デュポンフィルム株式会社	清原工業団地	29	クボタ空調株式会社	宇都宮工業団地
13	デュポン株式会社	清原工業団地	30	東武建設株式会社	宇都宮工業団地
14	東京応化工業株式会社	清原工業団地	31	日本パーカライジング株式会社	宇都宮工業団地
15	東京製鐵株式会社	清原工業団地	32	古河カラーアルミ株式会社	宇都宮工業団地
16	栃木住友電工株式会社	清原工業団地	33	村田発條株式会社	宇都宮工業団地
17	日圧電子部品株式会社	清原工業団地			

## 環境分野5 人づくり

### 基本施策5-1 環境教育・環境学習の推進

#### 主な課題

市民や事業者の間に環境についての知識や理解が深まり、主体的な人が育っていけるようにするため、環境情報の整備と提供のほか、人材育成、環境学習センターや市有施設等における環境学習などが重要となっています。

#### 取組の基本方向

環境を大切に作る人づくりを進めるため、様々な場所や機会を通して、環境教育・環境学習を推進します。

#### 施策・概要

5-1-1 環境情報の整備と提供	
(1) 環境情報の整備, 提供, 活用の推進	ホームページや情報誌等を活用した情報発信を行うほか、ひとやものを大切にする行動指針「もったいないの約束」等の啓発活動を推進する。
5-1-2 人材育成の推進	
(1) 環境リーダー等の人材の育成	環境学習の指導者や地域で活動するリサイクル推進員、環境保全団体スタッフ等の地域の環境リーダーの育成・支援を図り、活動の活性化を促進する。
(2) 人材活用のための仕組みづくり	各種環境団体等とのネットワークの強化を図る。
5-1-3 環境学習の場と機会の創出・支援	
(1) 環境学習手法等の開発, 整備	環境学習に係る手法・教材等の開発, 整備を行うとともに、広く教材の周知を図る。
(2) 環境学習のための場の充実	環境学習センターの機能の充実や、生涯学習センターや冒険活動センターとの連携による環境学習の場の充実を図る。
(3) 多様な学習機会の提供・支援	環境学習センター等における環境学習を推進するほか、環境イベント等の充実や幼児環境学習の推進などに取り組む。
(4) 各主体の連携による環境学習の推進	市民・事業者・市等の協力・連携による講座企画等を実施する。

#### 環境目標の各年度の実績

No.	指標				担当課
21	環境学習センターで開催する環境講座等の参加者数				環境政策課
	H21 (基準)	H22	H23	H27 (目標)	
	4,450名	5,592名	6,955名	6,200名	



## 環境目標達成に向けた取組の実施状況

No.21 環境学習センターで開催する環境講座等の参加者数	
平成23年度の 実施 内容	<p><b>【事業の概要】</b> 本市の環境学習の拠点施設である環境学習センター（市内茂原町）において、生活環境、自然環境及び地球環境問題等、幅広い環境関連講座を企画し、年間を通して実施することで、環境学習の機会の拡充を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年度講座開催数と参加者 環境講座等 226回（6,955名）</li> <li>・ 広報紙や環境学習センターホームページを活用して周知し、参加者の募集に努めた。</li> </ul> <p><b>【事業の目的】</b> 環境問題に対する理解や関心を深め、問題解決に向けた一人ひとりの環境配慮行動を誘発し促進を図ること。</p> <p><b>【事業の効果】</b> 市民のニーズや学習意欲に対応した講座を実施し、幅広い年齢層に対応したことで、環境講座等の参加者数の増加につながった。</p>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している</li> <li><input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる</li> <li><input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、より一層の努力を要する</li> <li><input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する</li> </ul>

## 基本施策5-2 環境保全活動の促進

### 主な課題

環境保全活動に参加する人が増え、環境保全活動が発展し、地域の力となっていけるようにするため、「宇都宮市もったいない運動市民会議」等とのパートナーシップ、市民活動への支援、事業者や団体等の活動への支援などが重要となっています。

### 取組の基本方向

より良い環境を創出する活動の輪を広げるため、自発的な活動を促進するための支援や市民協働で取り組む仕組みづくりに努めます。

### 施策・概要

5-2-1 環境保全活動の促進	
(1) 環境保全活動の促進	市民活動への支援や事業者のCSR活動等の促進、本市独自の仕組みである環境創造基金の活用などに取り組む。
5-2-2 市民・事業者・市の連携の推進	
(1) 環境パートナーシップの強化	環境NPO、企業、学校、関係機関等との連携強化や、市民協働による環境にやさしいまちづくりを進めるための地域コミュニティの推進を図る。

## 環境目標の各年度の実績

No.	指標				担当課
22	市民活動サポートセンターの登録団体数（環境分野）				みんなでまちづくり課
	H21（基準）	H22	H23	H27（目標）	
	26 団体	29 団体	29 団体	36 団体	

## 環境目標達成に向けた取組の実施状況

No.22 市民活動サポートセンターの登録団体数（環境分野）	
平成23年度の 実施内容	<p>【事業の概要】</p> <p>市民活動団体に対する各種支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民活動助成基金による助成（14 団体）</li> <li>・ 市民ボランティア活動補償制度の運用</li> <li>・ 市民活動を支援する窓口としての市民活動サポートセンターの運営</li> </ul> <p>【事業の目的】</p> <p>より良い環境を創出する活動の環を広げるため、市民等の自発的な行動を促進すること</p> <p>【事業の効果】</p> <p>市民活動団体登録数及びNPO法人の認証法人数が増加するなど、協働の相手方となり得る団体の増加</p>
評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、より一層の努力を要する <input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する

## 基本施策5-3 環境配慮行動の推進

### 主な課題

環境配慮指針の運用による環境配慮行動の推進や、ISO14001の趣旨を生かした独自の環境マネジメントの仕組みの継続や充実を図ることにより、市民・事業者の具体的な環境配慮の推進・拡大を図っていく必要があります。

### 取組の基本方向

市民・事業者の環境に配慮した自発的な行動を促進するための支援や仕組みづくりを推進します。

### 施策・概要

5-3-1 環境配慮行動の推進
<p>(1) 環境配慮指針の運用</p> <p>「宇都宮市環境配慮指針」の運用により、市民の日常生活や事業者の事業活動における環境配慮行動を促進する。</p>

	<p><b>(2) 環境管理活動の推進</b></p> <p>家庭、事業所、学校における環境配慮行動の促進を図るほか、市の業務における環境管理活動を推進する。</p>
	<p><b>(3) 環境配慮に係る取組の推進</b></p> <p>土地利用に関する大規模開発事前指導や、開発許可制度の適正な運用を行う。</p>
	<p><b>(4) 「もったいない運動」の推進</b></p> <p>もったいないの精神による市民の自主的な環境配慮行動を広げるため、もったいない運動を推進する。</p>

**環境目標の各年度の実績**

No.	指標				担当課
23	家庭版環境ISO認定制度認定家庭数				環境政策課
	H21 (基準)	H22	H23	H27 (目標)	
	1,323 世帯	1,520 世帯	1,661 世帯	2,600 世帯	

**環境目標達成に向けた取組の実施状況**

No.23 家庭版環境ISO認定制度認定家庭数	
平成23年度の 実施内容	<p><b>【事業の概要】</b></p> <p>家庭版環境ISO (みやエコファミリー) 認定制度の概要 各家庭においてハンドブックに沿い、自主的に「計画」「行動」「点検」「見直し」を行ってもらい、取組が適切であると認められた家庭に認定証を交付するもの。認定家庭は、市内の協力店において特典を受けることができる。</p> <p>イベント、環境出前講座及び協力店店頭での周知・啓発、申込受付の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7つの他団体イベントで申込受付を実施</li> <li>・ 環境出前講座4ヶ所で申込受付を実施</li> <li>・ 7月と2月に協力店スーパー16店舗の店頭で申込受付を実施</li> </ul> <p>広報紙や環境学習センターホームページを活用した啓発を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙7月号及び12月号で取組について紹介</li> <li>・ 市のホームページにて、通年で取組について紹介</li> </ul> <p><b>【事業の目的】</b></p> <p>環境にやさしい暮らしづくりを推進し、市民の環境に対する意識の高揚を図り、環境への負荷の少ない社会の構築に資する。</p> <p><b>【事業の効果】</b></p> <p>市民一人ひとりが、当認定制度を行うことにより、環境に配慮した行動に積極的に取り組み、今日のごみ問題や地球温暖化などの環境問題の解決に寄与する。</p>
評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、より一層の努力を要する <input type="checkbox"/> 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する

# 平成23年度における「第2次宇都宮市環境基本計画」の取組状況（総括）

## 1 総括

### 全体総括

平成23年度における本市の環境施策は、一部の取組においては東日本大震災の影響が見られるものの、様々な取組を計画的に推進した結果、概ね順調に進んだ。

特に、住宅用太陽光発電システムの設置数や環境講座などへの参加者数が堅調に伸びていることから、市民の環境に対する意識が向上していると考えられる。

一方、ごみの排出量が増加しており、プラスチック製容器包装などの資源化量が減少していることを踏まえると、ごみの排出量を抑制することが、特に必要な状況である。

### 環境分野1 地球環境

#### 【順調に進んでいること】

- ・ 住宅用太陽光発電システムの設置数が大幅に増加するなど、再生可能エネルギーの普及が進んでいる。
- ・ 自転車走行区間の整備延長やレンタサイクルの利用者数増加など、環境負荷の少ない移動手段の新規整備が順調に進んでいる。

#### 【改善に向けた努力が必要なこと】

- ・ 公共交通の利用者が減少している。

#### 【今後の取組方針】

- ・ 再生可能エネルギーの利活用や省エネルギーの更なる推進を図り、公共交通ネットワークの充実や市街地整備など、温室効果ガスの排出量削減につながる施策を推進する。

### 環境分野2 廃棄物

#### 【順調に進んでいること】

- ・ 不法投棄が減少している。

#### 【改善に向けた努力が必要なこと】

- ・ ごみの排出量や最終処分量が増加している。

#### 【今後の取組方針】

- ・ 廃棄物の適正処理を更に推進するとともに、ごみの発生抑制や適正な資源循環利用などに取り組み、循環型社会の形成につながる施策を推進する。

### 環境分野3 自然環境

#### 【順調に進んでいること】

- ・ 公園面積の拡大など、緑の創出が順調に進んでいる。
- ・ 水資源の確保や環境に配慮した河川の整備など、水環境の保全・創出が順調に進んでいる。
- ・ 景観形成重点地区や文化財保存団体数の増加など、景観の保全と創造が順調に進んでいる。

#### 【改善に向けた努力が必要なこと】

- ・ 生物多様性に関する市民の認知度が低い。
- ・ 民有林の間伐面積について目標を達成していない。

#### 【今後の取組方針】

- ・ 水や緑など、良好な環境の保全・創出を更に進めるとともに、生物多様性を保全する取組を推進し、将来における良好な自然環境が保たれるよう取り組む。

### 環境分野4 生活環境

#### 【順調に進んでいること】

- ・ 河川の環境基準が維持されている。

#### 【改善に向けた努力が必要なこと】

- ・ 光化学オキシダントや自動車騒音などの環境基準が達成されていない。
- ・ 環境協定を締結している事業者が増えていない。

#### 【今後の取組方針】

- ・ 良好な生活環境を確保し、維持する取組や、環境に悪影響を及ぼすものを抑制し、減少させる取組を推進する。

### 環境分野5 人づくり

#### 【順調に進んでいること】

- ・ 環境講座などへの参加者数が増加している。

#### 【改善に向けた努力が必要なこと】

- ・ 各施策が順調に進んでおり、否定的要因は見当たらない。

#### 【今後の取組方針】

- ・ 市民が、自主的・自発的に環境に配慮し、行動できるよう、環境に関する情報を提供するとともに、環境保全や環境学習の機会拡大を推進する。

## 2 「環境目標」の達成状況

### (1) 「環境目標」の達成状況（全体）

評価区分	項目数	備考
◎ 目標年度の数値を達成している	3	} 61%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	11	
▲ 目標の達成に向け、より一層の努力を要する	7	
△ 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する	2	
合計	23	

### (2) 環境分野ごとの「環境目標の達成状況」

#### 環境分野1 地球環境

##### 「環境目標」の達成状況

評価区分	項目数	備考
◎ 目標年度の数値を達成している	0	} 80%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	4	
▲ 目標の達成に向け、より一層の努力を要する	1	・ 公共交通の年間利用者数
△ 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する	0	
合計	5	

#### 環境分野2 廃棄物

##### 「環境目標」の達成状況

評価区分	項目数	備考
◎ 目標年度の数値を達成している	0	} 25%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	1	
▲ 目標の達成に向け、より一層の努力を要する	3	・ 市民1人1日当たりのごみの排出量 ・ ごみの最終処分量 ・ リサイクル率
△ 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する	0	
合計	4	

### 環境分野3 自然環境

#### 「環境目標」の達成状況

評価区分	項目数	備考
◎ 目標年度の数値を達成している	1	} 71%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	4	
▲ 目標の達成に向け、より一層の努力を要する	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「生物多様性」の言葉の意味を知っている市民の割合</li> <li>・ 民有林の間伐面積</li> </ul>
△ 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する	0	
合計	7	

### 環境分野4 生活環境

#### 「環境目標」の達成状況

評価区分	項目数	備考
◎ 目標年度の数値を達成している	1	} 25%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	0	
▲ 目標の達成に向け、より一層の努力を要する	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇都宮市環境協定締結事業者数</li> </ul>
△ 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光化学オキシダントの環境基準の達成率</li> <li>・ 自動車騒音に係る環境基準の達成率</li> </ul>
合計	4	

### 環境分野5 人づくり

#### 「環境目標」の達成状況

評価区分	項目数	備考
◎ 目標年度の数値を達成している	1	} 100%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	2	
▲ 目標の達成に向け、より一層の努力を要する	0	
△ 目標の達成に向け、本市だけではなく、市域を超えた取組を要する	0	
合計	3	